

秋の叙勲「瑞宝小綬章」を受章 林 栄太郎さん〔八竜〕

林さんは、昭和42年7月に東京消防庁に入庁し、自治省消防庁への派遣などを経験され、救命救急体制の整備と救急救命士の普及・技術向上、緊急消防援助隊をはじめとする消防広域応援体制の整備・拡充などに尽力し、その礎を築られました。国内外問わず災害や事故などで部隊の指揮をとり、平成12年4月から日野消防署長を、平成16年10月から消防学校副校長を、平成18年10月から第七消防方面本部長を務められました。

林さんは「緊急消防援助隊が出動した中越地震では、自治省消防庁で共に緊急消防援助隊制度に携わった高橋正樹新潟県副知事と被災地で再会し、『共に制度を作ってよかったね』と握手を交わしたことが思い出深いです」と、語りました。



秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章 荒川 孝市さん〔大木六〕

荒川さんは、昭和46年4月に見附市立葛巻小学校に赴任され、平成10年4月から小学校長として学校教育に尽力されました。平成13年4月から平成16年3月までは新潟県教育庁生涯学習推進課職員として、学校週5日制の推進など学校行政にも力を注がれ、38年間という長年の教育功勞により受章されました。

荒川さんは「子どもとのふれあいを大切に、教員生活を送ってきました。子どもと遊ぶのが楽しく、おもしろいことばかりでした。教え子にも保護者にも仲良くしてもらい、親子で同窓会に参加してもらったほどです。それほどの関係を築けたことは、私の誇りです」と、語りました。



秋の叙勲「瑞宝単光章」を受章 旅川 保廣さん〔伊勢町〕

旅川さんは、昭和54年4月に六日町消防団に入団し、34年の長きにわたり地域を守る消防団員として尽力されました。平成23年4月から六日町方面隊長を務め、平成23年7月新潟・福島豪雨では各地に連絡がつかず災害現場の確認ができないなどの困難を極めるなか指揮をとりました。また、消防団員数の減少に伴う六日町方面隊の再編成などにも力を注がれました。

旅川さんは「私は勤め人で転勤や単身赴任などもあったので、なかなか消防団活動に出られないこともありました。その中で34年間も務められたのは、先輩・後輩、周りの人の助けがあったから。みんなに感謝したいです」と、語りました。



秋の叙勲「旭日双光章」を受章 若井 達男さん〔新堀〕

若井さんは、平成11年4月に旧六日町議会議員となり、平成16年11月から南魚沼市議会議員として平成29年10月まで5期18年6か月の長きにわたり、町・市政の発展に寄与されました。合併対策特別委員会副委員長、平成21年11月から2年間は議会議長として、豪雨や地震への災害対応などに務め、財政健全化に取り組みながら安定的な市政運営のため尽力されました。

若井さんは「18年6か月間はあっという間の期間でした。この受章は自分ひとりでもらえたものではなく、みなさんのおかげです。『衆在りて我在り』のように周りに助けられて受章できました」と、語りました。

